（前ページ続き）

当時の組合員。中央委員長　中西武一（後ノ大阪交通

なお

なお組織を拡大する為に三月二十三日中立倉公會堂に於て組合員三千名を網羅する大演説会を開催し、三月二日に組合員三千名を網羅する組織を完成した。果敢に産業組合の結成を決行し、西部交通を中心とする組織に成功した。

同盟は、その頃、東京市電の争議を援助し、全国的に電産の結成を呼びかけ、大阪市電の争議を援助した。

然るに大正十三年に入ると、市当局は、電産の結成を恐れ、大阪市電の争議に対する弾圧を強化し、組合に対する解雇を強行した。

この頃、東京市電の争議に対する弾圧を強化し、組合に対する解雇を強行した。

この頃、東京市電の争議に対する弾圧を強化し、組合に対する解雇を強行した。

財團法人協調會大阪支所

トカ協議スルノデアル中央委員　島村　篤　西山留次等

期ダケ交渉ハ常任書記　勞中川ニ知味ル組合トシテノ内容ト

管力アリスルコトニナッタガ、組合（後ノ市從業員組合幹部）

此間大阪市ハ（大正十二年十月一日）多年ノ懸案デアッタ大阪

電燈ヲ買收シ、電燈市營ノ大事業ヲ實現セシムルニ至ッタガ之ト

同時ニ大阪電燈從業員ニヨッテ組織サレタル勞働總同盟所屬大阪

電氣勞働組合ハ新ニ市ノ管轄下ニ加ハルコトニナッタ。而シテコ

ノ買收ニヨッテ急ニ擴大シタル電氣事業ヲ統轄スル爲、市ハ電氣

局ヲ新設シ、從來ノ電鐵部ヲ廢シテ運輸課トナシ、初代局長ハ佐竹

三吾氏デアッタガ幾許モ無キ十三年二月辭職、鬼頭源泉氏新ニ局長

ニ就任シ、木村尚一氏運輸課長ニ新任セラルルニ至ッタ。コノ當

時ニハ西部交通ノ再興運動ガ最モ猛烈ヲ極メタ頃デアッタガ、事

實組合ガ完全ニ再建サレタ點ヨリシテ組合ハ市當局ガ膨張シタ

ル事業ト陣容ノ整備確立ニ努力セル間隙ヲ利用シタモノトモル